

令和元年度3月定例記者会見 次第

日時：3月23日（月）15時00分～

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕 朝日新聞、糸島新聞、西日本新聞、毎日新聞、読売新聞
NHK福岡放送局

〔糸島市〕 市長、副市長、教育長

関係部課 （企画部）秘書広報課

（健康増進部）健康づくり課、介護・高齢者支援課

1 市長あいさつ

2 4月のイベント

● イベント情報

3 案件

(1) 糸島市子育て世代包括支援センター「いとハピ」の開設について

（健康づくり課） ● 資料1

(2) 糸島市基幹型地域包括支援センターの開設について

（介護・高齢者支援課） ● 資料2

(3) 糸島市制施行10周年記念事業『郷土糸島の偉人たち』の偉人が決定！

（秘書広報課） ● 資料3

4 市長短信

● 短信資料

5 懇談・その他

■ 次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：4月28日（火）13時30分～

場所：糸島市役所 庁議室

～糸島市は子どもを安心して生み育てられる環境づくりを進めています～
「子育て世代包括支援センターいとハピ」を開設します

概要

糸島市では、4月から子ども課と健康づくり課が連携し、健康福祉センターあごら2階に「子育て世代包括支援センターいとハピ」を開設します。センターの愛称「いとハピ」とは糸島でのハッピーな子育てを支援する場という意味で、457人のみなさんの投票で決定しました。

センターの特徴

- ・ 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のないサポート
- ・ 助産師や保健師、保育士等の専門職が対応
- ・ 土曜開所により働く妊産婦の利便性向上
- ・ 母子健康手帳交付を集団交付から個人交付へ（事前電話予約制）
- ・ 産前産後サポート事業、産後ケア事業の実施
- ・ 母子手帳アプリ導入
- ・ 相談支援の充実

オープニングセレモニー（新型コロナウイルスの影響により中止となる可能性があります）

日時：令和2年4月11日（土） 10:00～11:30

場所：健康福祉センターあごら2階

内容：①開所式（30分程度）

②特別講演 テーマ「妊婦さんや子育て中の方へ伝えたい事」

講師 福岡大学医学部産婦人科 助教 讃井 絢子 氏

出席予定者：①市長、議長、副議長、市民福祉常任委員、糸島保健福祉事務所長

センター概要

住所：糸島市潤一丁目22番1号（健康福祉センターあごら2階）

開所時間：8:30～17:15（日・月・祝日を除く）

電話：092-324-9994

e-mail：itohapi@city.itoshima.lg.jp

データ

●母子健康手帳交付数推移

	H28	H29	H30
	696	690	654

●0歳～3歳児人口（年度末時点）

	H28	H29	H30
0歳	720	727	717
1歳	820	800	803
2歳	847	873	873
3歳	867	900	924

【問い合わせ先】

健康増進部健康づくり課母子保健係

担当：小澤

TEL：直通：332-2069 内線：1538

メ-ル：kenkozukuri@city.itoshima.lg.jp

～糸島市は子どもを安心して生み育てられる環境づくりを進めています～

糸島市子育て世代包括支援センター

いとハピ



いとハピとは糸島でのハッピーな子育てを支援する
妊娠期から子育て期までの専門相談窓口です！

助産師や、保健師、保育士等の専門職が
妊娠期から子育て期にわたるまでの
切れ目のない相談と支援を行います。

令和2年4月
健康福祉センター
あごら2階に
OPEN!

助産師・保健師

相談内容例

- ・母子健康手帳交付
- ・妊娠出産に伴う身体や心の変化
- ・出産に関すること
- ・産後の生活について
- ・母乳やミルクについて
- ・赤ちゃんの体重や皮膚の状態
- ・予防接種について

連携



保育士等

相談内容例

- ・子育てについて
- ・子どもの遊び場・遊びについて
- ・家族の事、きょうだい児のこと
- ・生活リズムについて



ママ・パパだけでなく、ご家族の方どなたでもお気軽にご相談ください。

4月から
母子健康手帳
交付が予約制に
変わります

土曜もOK

母子健康手帳交付の際に、妊婦さんと面談をして
ひとりひとりに応じた情報提供やご相談を行います。

交付場所 | 糸島市子育て世代包括支援センターいとハピ

交付日時 | 火曜日～土曜日 9:00～16:30(祝日を除く)

予約方法 | 電話予約 **092-324-9994**(いとハピ直通)

※必ず予約をしてからお越しください。面談時間は、30分程度です。



糸島市子育て世代包括支援センター いとハピ

住 所 | 糸島市潤一丁目22番1号(健康福祉センターあごら2階)

開所時間 | 8:30～17:15(日・月・祝日を除く)

電 話 | 092-324-9994 e-mail | itohapi@city.itoshima.lg.jp

※市役所子ども課にも子育て世代包括支援センタースタッフが常駐しています。



令和2年度 母子保健事業日程表

申込み
問合せ

糸島市子育て世代包括支援センター いとハピ
 開所時間：8:30～17:15(日・月・祝日を除く) 電話：092-324-9994
 e-mail: itohapi@city.itoshima.lg.jp



乳幼児健診日程

会場 健康福祉センターあざら2階

受付時間 12:50～13:20 (受付後2時間程度かかります)

持ってくる物 ①母子健康手帳 ②事前に送付した案内(10か月健診はハガキ) ③案内に記載している物

※対象者の方には事前に個別案内を送付いたします。

(転入の方で通知が届いていない方はご連絡ください。)

4か月児健診

日程	対象生まれ月
4月10(金)・23(木)	R.1.12月生
5月13(水)・21(木)	R.2.1月生
6月4(木)・17(水)	R.2.2月生
7月10(金)・16(木)	R.2.3月生
8月5(水)・19(水)	R.2.4月生
9月4(金)・10(木)	R.2.5月生
10月7(水)・16(金)	R.2.6月生
11月13(金)・18(水)	R.2.7月生
12月4(金)・9(水)	R.2.8月生
1月14(木)・21(木)	R.2.9月生
2月3(水)・17(水)	R.2.10月生
3月4(木)・17(水)	R.2.11月生

1歳6か月児健診

日程	対象生まれ月
4月9(木)・14(火)・22(水)	H.30.9月生
5月14(木)・19(火)・28(木)	H.30.10月生
6月2(火)・11(木)・16(火)	H.30.11月生
7月7(火)・15(水)・28(火)	H.30.12月生
8月6(木)・20(木)・27(木)	H.31.1月生
9月8(火)・16(水)	H.31.2月生
10月6(火)・13(火)・21(水)	H.31.3月生
11月10(火)・19(木)・26(木)	H.31.4月生
12月10(木)・15(火)	R.1.5月生
1月7(木)・15(金)・19(火)	R.1.6月生
2月2(火)・10(水)	R.1.7月生
3月2(火)・11(木)・18(木)	R.1.8月生

10か月児健診

日程	対象生まれ月
4月7(火)・15(水)	R.1.6月生
5月15(金)・27(水)	R.1.7月生
6月5(金)・10(水)	R.1.8月生
7月8(水)・22(水)	R.1.9月生
8月7(金)・26(水)	R.1.10月生
9月2(水)・11(金)	R.1.11月生
10月9(金)・15(木)	R.1.12月生
11月5(木)・11(水)	R.2.1月生
12月3(木)・17(木)	R.2.2月生
1月13(水)・27(水)	R.2.3月生
2月5(金)・18(木)	R.2.4月生
3月5(金)・10(水)	R.2.5月生

3歳児健診

日程	対象生まれ月
4月8(水)・16(木)・21(火)	H.29.3月生
5月12(火)・20(水)・26(火)	H.29.4月生
6月3(水)・9(火)・18(木)	H.29.5月生
7月9(木)・14(火)・21(火)	H.29.6月生
8月4(火)・18(火)・25(火)	H.29.7月生
9月3(木)・9(水)・15(火)	H.29.8月生
10月2(金)・8(木)・14(水)・20(火)	H.29.9月生
11月6(金)・12(木)・17(火)	H.29.10月生
12月2(水)・8(火)・16(水)	H.29.11月生
1月8(金)・20(水)・26(火)	H.29.12月生
2月4(木)・9(火)・16(火)	H.30.1月生
3月3(水)・9(火)・16(火)	H.30.2月生

母子手帳交付(要予約)

会場 健康福祉センターあざら2階 子育て世代包括支援センターいとハピ

日時 火曜～土曜 9:00～16:30

持ってくる物 ①妊婦本人の個人番号カード(マイナンバーカード)

※①がないとき→妊婦本人の個人番号通知カード及び

運転免許証、パスポート、身体障がい者手帳など1点、

※持参が難しい場合は、ご予約の際にご相談ください。

②代理の場合→代理人の印鑑

授乳相談(要予約)

会場 健康福祉センターあざら2階 子育て世代包括支援センターいとハピ

日時 要予約

持ってくる物 タオル1～2枚※授乳しやすい服装でお越しください。

事業名	もぐもぐ教室(要予約)		ぱくぱく教室(要予約)		のびのび相談(予約不要)	
	概ね4～6か月児とその保護者	概ね1歳未満児とその保護者	健康福祉センターあざら2階	小学校就学前までの乳幼児	健康福祉センターあざら2階	母子健康手帳
受付時間	9:45～10:00(12時終了予定)		9:30～11:00			
持ってくるもの	①母子健康手帳 ②4か月児健診資料「離乳食のすすめ方」 ③その他(予約の際にお伝えします)					
4月	8日(水)	15日(水)	8日(水)	15日(水)	24日(金)	24日(金)
5月	14日(木)	21日(木)	14日(木)	21日(木)	28日(木)	28日(木)
6月	5日(金)	11日(木)	5日(金)	11日(木)	18日(木)	18日(木)
7月	10日(金)	16日(木)	10日(金)	16日(木)	29日(水)	29日(水)
8月	6日(木)	21日(金)	6日(木)	21日(金)	27日(木)	27日(木)
9月	10日(木)	16日(水)	10日(木)	16日(水)	30日(水)	30日(水)
10月	7日(水)	14日(水)	7日(水)	14日(水)	28日(水)	28日(水)
11月	13日(金)	18日(水)	13日(金)	18日(水)	25日(水)	25日(水)
12月	4日(金)	11日(金)	4日(金)	11日(金)	17日(木)	17日(木)
1月	13日(水)	20日(水)	13日(水)	20日(水)	28日(木)	28日(木)
2月	5日(金)	17日(水)	5日(金)	17日(水)	26日(金)	26日(金)
3月	4日(木)	12日(金)	4日(木)	12日(金)	18日(木)	18日(木)

糸島市基幹型地域包括支援センターを設置します！

～地域包括支援センター更なる体制強化に向けた取組～

【設置目的】

- 多様化・複雑化する高齢者の相談に対応するため、地域包括支援センターの対応力の強化を図る。
- 地域包括支援センターの職員の対応力向上のため、基幹型センター職員による専門的な実務指導や研修を実施可能な体制を整備する。
- 一人暮らし高齢者等の増加に対応するため、校区社会福祉協議会等と連携し、地域包括支援センターを中心とした地域の見守りや生活支援に係る体制を構築する。

【基幹型センターの概要】

- 1 設置年月日
令和2年4月1日
- 2 委託先
社会福祉法人糸島市社会福祉協議会
- 3 設置場所
健康福祉センター「あごら」内（糸島市潤一丁目22番1号）
- 4 人員体制
センター長 1名
保健師 1名
社会福祉士 1名
主任介護支援専門員 1名 計4名

【基幹型センターの概要】

詳細は別紙のとおり

<糸島市の高齢者の現状>

- ・高齢化率 28.9%（令和元年10月1日現在）
- ・一人暮らし世帯数 6,379世帯（平成31年4月1日現在）全世帯の15.1%
- ・平成30年度地域包括支援センター相談件数 22,083件

【問い合わせ先】

健康増進部 介護・高齢者支援課 高齢者支援係
担当：木村・矢野
TEL：直通：332-2070
内線：1561

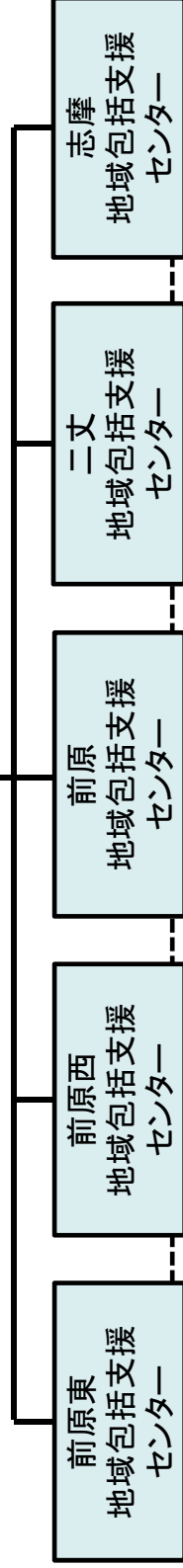
糸島市地域包括支援センターの体系図

※令和2年度4月より「基幹型地域包括支援センター」設置

基幹型地域包括支援センター

- 《役割》
- ① 地域包括支援センターの業務の統括・総合調整
 - ② 処遇困難ケースや高齢者虐待事例等の後方支援
 - ③ 地域包括支援センターの人材育成支援
 - ④ 新しい包括的支援事業（在宅医療・介護連携、生活支援体制整備事業、認知症初期集中支援事業等）に係る関係機関との連携・調整
 - ⑤ 新規事業に係る指導・助言
 - ⑥ その他（市民啓発、情報発信、視察対応など）

※基幹型センターは担当圏域を持たず、要支援者等のマネジメント業務は行わない。



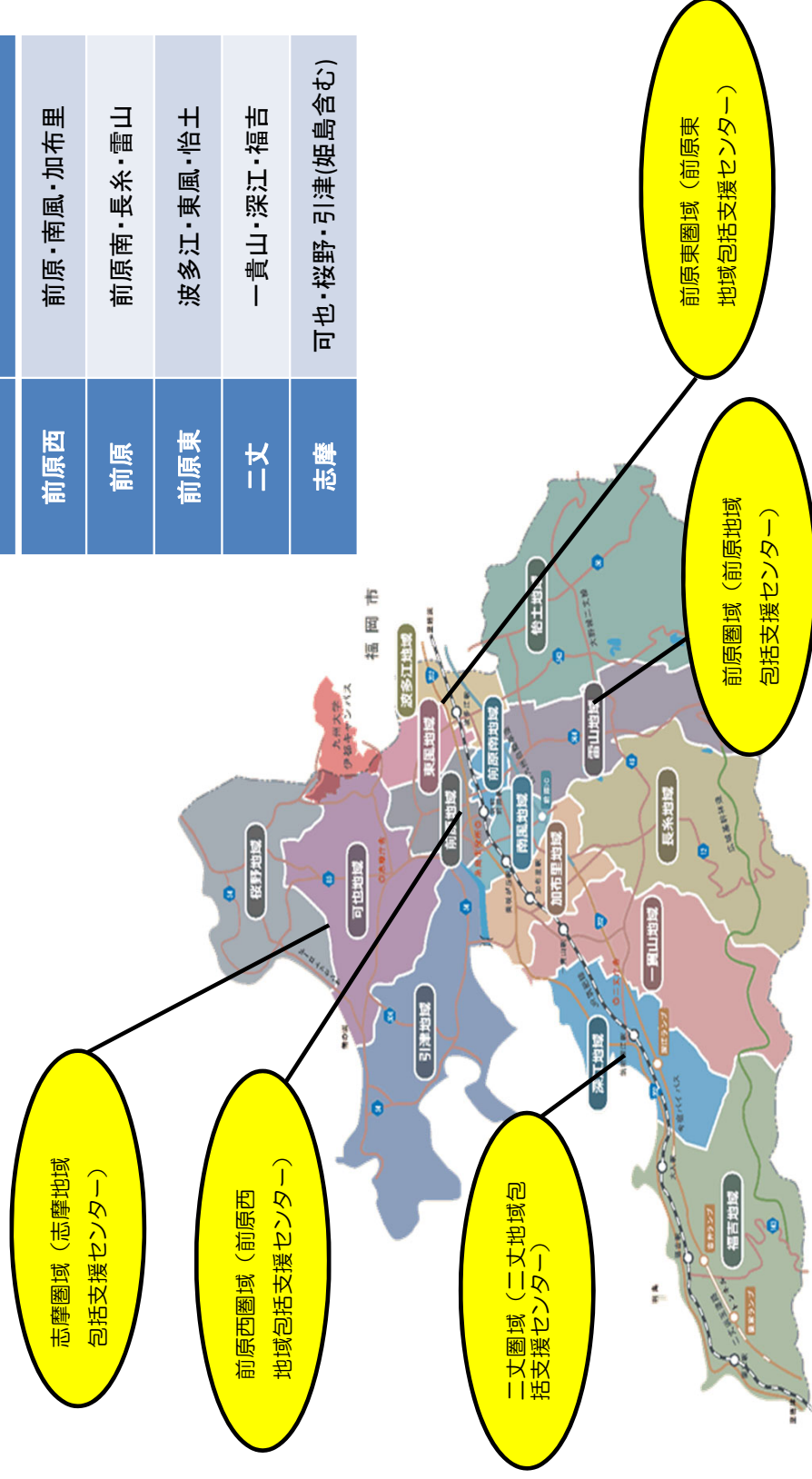
《地域包括支援センター役割》

- ① 総合相談・支援（各相談を受け、適切なサービスにつなげる）
- ② 権利擁護（虐待や金銭トラブルから高齢者の権利を守る）
- ③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援（介護支援専門員への支援）
- ④ 介護予防ケアマネジメント（ケアプランの作成、効果の評価など）

いとしま地域包括ケアシステム

● 日常生活圏域の設定とセンターの位置

日常生活圏域	担当小学校区
前原西	前原・南風・加布里
前原	前原南・長糸・雷山
前原東	波多江・東風・怡土
二丈	一貴山・深江・福吉
志摩	可也・桜野・引津(姫島含む)



糸島市制施行 10 周年記念事業 『郷土糸島の偉人たち』の偉人が決定！

糸島市制施行 10 周年記念事業『郷土糸島の偉人たち』（糸島市と糸島新聞社の共同企画）について、このたび 12 人の偉人が決定しました。（※別紙「偉人一覧」参照）

決定した偉人については、広報いとしまや市ホームページなどにより、広く紹介していきます。

【選定の経過等】

○偉人情報の募集

- ・下記の定義を参考に、広報いとしま、市 HP、市公式 FB により、糸島出身の偉人を募集。（政治・経済、スポーツ、教育、芸能などジャンルを問わない。ただし、故人に限る。）

《定義》

「出身」：「糸島市で生まれた人、暮らした人」や「糸島市に深いゆかりがある人」
「偉人」：「歴史に名を残すような立派なことを成し遂げた人」や「多くの人々から尊敬され後世に語り継がれるような人」

- ・所定の応募様式により、令和元年 11 月 15 日（金）～12 月 20 日（金）で募集。（※26 人の応募者から 32 人の偉人情報が寄せられた。）

○偉人の選定および決定

- ・応募による収集情報およびその他の方法（郡誌・町史の確認等）により収集した情報をもとに、下記のとおり全 3 回の選定委員会を開催し、偉人を選定。選定結果を市に報告。（※応募情報（32 人）およびその他の方法による情報（173 人）の計 205 人から選定。）
- ・市は、選定委員会から報告を受けた選定結果をもとに、偉人を決定。

《『郷土糸島の偉人たち』選定委員会》

- ・第 1 回選定委員会（11 月 5 日）…偉人の募集要領、選定方法、定義の確認など
- ・第 2 回選定委員会（2 月 7 日）…収集情報および選定方法等の確認、選定基準の検討
- ・第 3 回選定委員会（3 月 10 日）…選定基準の決定、偉人の選定

《選定基準》

- ・全国的に活躍した人や知名度が高い人
- ・各分野（産業、医療、教育、芸術など）の先駆者やその振興に大きく寄与した人
- ・地域の発展に大きく寄与した人もしくは地域課題の解決に大きく貢献した人
- ・当時の取り組みやその功績が、今もなお地域や住民等に恩恵（影響）を与えている人
- ・次代を担う若者や子どもたちに伝えていく意義が大きい人

○偉人の紹介

- ・ 広報いとしま：令和2年6月1日号から、毎月1～2人ずつ紹介
（※令和2年5月1日号で12人全員の概要を紹介し、以降詳細を紹介。）
- ・ 市HP：令和2年3～4月から、トップページのフォトニュース欄を活用して紹介
- ・ 市公式FB：令和2年3～4月から、HP公開にあわせて紹介
- ・ 展示：市役所情報公開コーナー等でパネル展示を実施予定

【参考】

○事業の目的

糸島出身の偉人を広く紹介することで、市民が郷土“糸島”への郷土愛を深め、誇りをもつ機会とし、市民協働によるまちづくりへの更なる機運醸成を図ることを目的とする。

※創刊100周年を迎えた糸島新聞社との協働により、同社がもつ地域に密着した豊富な情報量と情報収集力・発信力を生かし、偉人の発掘や紹介などの強化を図る。

○選定委員会の構成

- ・ 糸島新聞社 顧問……………上原 康弘 氏（委員長）
- ・ 前原地域（有識者）……………中田 光司 氏
- ・ 二丈地域（有識者）……………松尾 照和 氏
- ・ 志摩地域（有識者）……………高田 秀五 氏
- ・ 女性（有識者）……………古川 マサエ 氏

【問い合わせ先】

企画部 秘書広報課 広報係 担当：川山

TEL：直通：332-2079

内線：1331

メ-ル：kawayama.y.716@city.itoshima.lg.jp

■ 『郷土糸島の偉人たち』の偉人一覧（50音順）

番号	偉人の名称	偉人の概要
1	井上 俊一 いのうえ しゅんいち	盛岡高等農林学校を卒業後、長糸村長（大正14年から5期20年）をはじめ、その他長糸の要職を歴任。 昭和3年、長糸が主基斎田（すきさいでん）の最終候補地となるも落選。その悔しさから村興しを決意。以降、3月15日を村興記念日として、現在まで続く長糸郷土振興大会へとつながっている。 まさに長糸の礎を築いた人物。
2	大原 研介 おおはら けんすけ	雷山村役場に長年勤務、昭和7年助役、同14年12月雷山村村長に就任。昭和9年の大旱魃に起因した雷山大溜池築造及び配水管整備に尽力、昭和19年に見事に完成させた。 糸島市では、小学4年生の社会科の中で、先人の努力ということで、雷山大溜池の授業として教材化が計られ、4女洋子氏が授業の講師を務められている。
3	岡部 平太 おかべ へいた	戦後はスポーツの理論研究と後輩の実技指導に努めた。その後日本スポーツの近代化と科学化に努め、陸上長距離界のトレーニングのあり方を示唆した。昭和26年には、戦後初のポストンマラソンの監督を務め、田中茂樹を日本人として初優勝に導き、科学的な研究と指導法が高く評価された。福岡国体の開催や平和台陸上競技場の建設・命名等多くの功績を残した。
4	甘蔗 大咩 かんしや だいうん	刑余者（刑罰を受け、刑務所を出所した人等）を自身の寺（当時は長音寺）へ引きとり、家族同様に暮らし、彼らの自立更生のために、寺の前の畑を果樹園にして、刑余者と共に汗を流した。この果樹園を仏教にちなみ「瑠璃光園」と名付けた。関わった刑余者は、間接保護600人、寺に引きとった者60人に及んだ。 また、妻タキノの内助の働きは、世の鏡として世人の尊敬を受けた。「糸島保護司会の祖」と言われる。
5	友納 健 とものう けん	糸島農協は昭和37年11月、糸島郡内14農協と2連合会が合併し、全国初一郡一農協という、当時の行政の枠を超えた広域農協として誕生。県農協中央会糸島支会長、糸島郡農協運営協議会長として、合併の推進に優れた指導力を発揮し、合併後は初代組合長に就任。地域農業の振興と、その拠点となる生産・販売の施設整備に尽力、現在の糸島農業の礎を築いた。
6	中村 寅太 なかむら とらた	日本農業再建の悲願に燃えて福岡県農村青年連盟を結成、書記長となるや全国農民運動の先頭に立ち、農民の代弁者、庶民大衆の味方として中央政界で活躍。 昭和22年衆議院議員に当選以来、10期30年、数々の要職を歴任。さらに運輸大臣、国務大臣と二度にわたり入閣した。 浅間山荘事件の体験から第一線警察官殉職時の補償強化、駐在所の妻の手当新設等、人情味溢れる政治家として多大な実績を残した。

番号	偉人の名称	偉人の概要
7	原田 新八郎 <small>はらだ しんぱちろう</small>	<p>東京美術学校（現・東京芸大）で彫刻を専攻。高校教諭等を務めながら創作活動に打ち込み、日展に複数回入選。「働く人」や「漁婦」が特選に選ばれ、昭和 35 年には第 1 回菊華賞を受賞。</p> <p>福岡県美術協会顧問及び日展の会員。原田大六氏の立像、伊都文化会館のレリーフ、同館の緞帳「天地創造」等も製作。</p> <p>昭和 61 年、前原町に作品と土地等を寄贈、現在の伊都郷土美術館が開設された。</p>
8	原田 大六 <small>はらだ だいろく</small>	<p>「伊都国」とよばれた二千年前の埋もれた歴史に光を当て、沖ノ島遺跡と平原遺跡の国宝出土遺跡調査に深く関わり、古代史の解明に情熱を注いだ考古学の研究者。</p> <p>昭和 40 年、平原遺跡の調査団長として緊急調査を開始。遺跡から破砕した四十面の鏡や、数多くの副葬品が発掘され、これらの調査、研究、管理のために、自宅に『平原遺跡出土品復元室』を建設し、日本最大の銅鏡（内行花文鏡）の復元を果たした。</p>
9	増田 顕邦 <small>ますだ あきくに</small>	<p>昭和 6 年日刊工業新聞社に入社、同 20 年工業新聞を復刊して社長。新日本機械工業等の社長も兼務。多くの要職を帯び、工業及び公共事業に貢献した功により、藍綬褒章及び紺綬褒章を受章。</p> <p>母校の野北小学校の校舎改築費として、巨額の資財を寄贈する等、数十年にわたり幾多の奉仕を続けられた。桜野小学校には、村民挙げて氏の徳を頌して、「増田顕邦氏頌徳碑」が建てられた。</p>
10	松永 冠山 <small>まつなが かんざん</small> ※正しくは「寸」でなく「リ」。	<p>京都市立絵画専門学校（現・京都市立芸術大学）卒業以来、京都を拠点に活躍。政府主催の官展（文展や帝展、現・日展）で 7 度入賞。帰郷後は日展委員や福岡県美術協会常任理事等を務める傍ら、講師として教壇に立ち、生徒たちに絵を教えた。</p> <p>昭和 25 年、彫刻家・原田新八郎らと共に「糸島美術協会」を設立。糸島地域をはじめ、福岡の美術界をけん引した。</p>
11	松本 三郎 <small>まつもと さぶろう</small>	<p>昭和 26 年、旭光学工業株式会社代表取締役社長に就任。</p> <p>昭和 31 年、日本光学工業協同組合理事長に就任。</p> <p>昭和 36 年、「財団法人松本奨学会（初代理事長松本三郎）」を発足。当初、奨学生は糸島高校生徒及び糸島高校卒業の国公立大学生に限られていたが、昭和 46 年度から糸島農業高校生、昭和 54 年度から「今宿以西の福岡市及び糸島郡内に居住する者」に広げられた。</p>
12	吉浦 秀次郎 <small>よしうら ひでじろう</small>	<p>ブラジルに渡航、移住組合の一員として奥地に入り、コーヒー栽培を開始。綿耕作・養蚕・養鶏と取り組み、次いでスイカ栽培に着手。国内のスイカ王となる。その後も規模を拡大、日平均 250 人の現地労務者を雇い、38 台のトラックを動かす大農家に発展。</p> <p>多数の日本青年を招き、教育し、自立経営させた功績も大であり、ブラジルの農業王としてブラジル国文化功労章を授与された。</p> <p>また、帰郷の折には神社、学校等に多額の浄財寄贈を行った。</p>